

特集 **厚生労働省改革** ～さまざまな改革を進めています～

1 働き方改革の推進・省内業務の見直し

働き方改革に向けた取組

▶ 厚生労働省では、超過勤務の削減に向けた取組を行うとともに、テレワークの活用やオンライン会議の導入も進めており、育児・介護等の事情がある方もそうでない方も、誰もがやりがいを感じながら働き続けられる職場環境の実現を目指しています。

業務の効率化

▶ 省内では、国会答弁の作成や調整におけるビジネスチャットツールの活用やペーパーレス化、業務上訪問の多い国会・議員会館への定期運航便の導入など、特に業務量の多い国会関係業務の効率化を進めています。また、省内幹部への相談や会議も含め、ペーパーレス化や Web 会議システム活用を進めており、省内業務全体の効率化・負担軽減を実現し、生産性を向上させる取組を進めています。

業務の自動化・外注化

▶ 業務の自動化・外注化や、業務プロセスの見直しに不断に取り組んでいます。例えば、フォーム作成ツール導入による集計作業の自動化といった業務の効率化に向けた取組を進めています。また、審議会等の準備作業のアウトソーシングも進めており、このような取組の積み重ねにより、職員が政策立案業務に集中できるような環境を作っています。

2 職員へのキャリア支援、若手職員に対するケア

若手職員へのキャリア支援：1 on1ミーティング、メンター制度

▶ 1on1ミーティングでは、上司と部下による1対1の定期的な対話時間を設け、上司によるマネジメントの基盤強化・職員の育成支援を推進しています。メンター制度では、若手職員に対して「メンター」を必ず一人つけることで、気軽にキャリアや悩みが相談できる環境を整えています。

多様な自己啓発の機会：とびだす“R”ラボ

▶ 職員自らが企画の提案を行い、研修を実現していく「職員提案型」の仕組み「とびだす“R”ラボ」を令和3年から運営しています。現場の支援者や当事者との意見交換等を通じて、職種の枠・担当している業務の枠を超えた実際の現場の想いや実践的な学びを得るため勉強会などが企画・実現されています。

若手職員に対するきめ細やかなケア：エンゲージメントサーベイ

▶ 個々の職員の意欲やエンゲージメントを毎月確認する「エンゲージメントサーベイ」の取組を進めています。

(※) エンゲージメント：組織や仕事に対して自発的な貢献意欲をもち、主体的に取り組んでいる心理状態。

3 快適なオフィス環境の整備

フリーアドレスの導入例

▶ 机や椅子の入替えや、グループアドレスを導入し、快適な職場環境を実現しています。



before



after

打合せスペースの増設例

▶ ペーパーレス化によって生まれたスペースに、打合せテーブル等を設置し、コミュニケーションの活性化を推進しています。



before



after1



after2

Pick Up

厚生労働省改革工程表

改革を着実に進めていくため、大臣はじめ省幹部が出席する改革会議において、改革の重点項目をまとめた「改革工程表」を策定しています。令和7年度～9年度版の改革工程表では、(1)長時間労働の是正、(2)オフィス改革、(3)キャリア支援・人事戦略の強化、(4)マネジメント向上、(5)業務効率化による生産性向上、の5つを重点項目と定め、改革に取り組んでいます。



改革会議の様子
(大臣はじめ省幹部が一同に集い、改革議論をしています)

厚生労働省改革若手チーム

「厚生労働省改革若手チーム」では、厚生労働省をより良い職場にしたいという思いを持つ有志の職員が集まり、省内から幅広く募った意見を踏まえつつ、業務効率化や職場環境の改善、広報等、厚生労働省が更に職員を大事にする職場になるための活動を行っています。また、令和7年には6年ぶりとなる改革に向けた提言をとりまとめるなど、改革の実現に取り組んでいます。



厚生労働省改革若手チーム
提言の厚生労働大臣への
手交式の様子